

令和6年度 学校教育自己診断 集計結果

令和6年度 学校評価 アンケートの概要

1. 実施期間 教 員：令和6年11月（自己評価）、回答17人
保護者：令和6年11月中旬 回答フォーム通知
生 徒：令和6年11月 HRにて実施

2. 回答数

	保護者	生 徒
1年生(51期生)	58人	544人
2年生(50期生)	58人	
3年生(49期生)	54人	
合 計	170人	

3. 質問項目 大阪府教育委員会指定の必須項目を含めて実施

1. 自己評価(教員アンケート)の集計結果

(0) アンケートの実施に係る反省点

- ・アンケート集計の合理化を図るため、Webベースのフォームによる回答に変更したところ、保護者からの回答数が著しく減少した。次年度以降は周知に力を入れ、回答用紙を配付していた時と同様の回答数が得られるよう、工夫に努める必要が。(保護者回答数:今年度170人 ← 昨年度493人)
- ・生徒アンケートのフォーム作成時に、学年に関する質問が欠落していたため、学年ごとの集計ができなくなってしまった。次年度に使用するフォームは既に修正している。

(1) 分析の概要

・前年比で数値が下降した項目

1. 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(今年度76.5% ← 昨年度84.6%)

・前年比で数値が大幅に上昇した項目

4. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(88.2% ← 74.4%)
5. 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。
(100.0% ← 76.9%)
9. 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。 (82.4% ← 59.0%)
10. いじめ(疑いを含めて)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。(81.2% ← 69.2%)

質問1の教職員間の日常的な話し合いについては、教員の業務の多忙なことが大きな原因をしめているが、工夫次第では会話の機会の捻出が可能だと思われる部分もあり、次年度以降の働きかけについて検討する必要がある。上昇した質問項目では、質問5が目立つ。生徒の進路選択は、学校教育の中でも特に重要事項であり、この部分に対して教員間の意識が高まっていることがうかがえる。また、質問10のいじめに関わる事案について、もともと本校生徒は、安心できる学校への意識が高く、いじめの疑いがある事案の発生が極めて低い学校ではあるが、生徒に対して、教員が真摯に対峙することで、

生徒が相談できる学校となっているとも考えられる。

近年、全体的に数値は下降傾向にあったが、本年度は大きく回復している。これは、教員の意識の変化が少しずつ見られてきたのではないかと考えている。

2. 保護者アンケートの集計結果

保護者アンケートについては、全体的には評価数値が大きく変化している部分は感じられなかったが、過去数年の幅で見た場合、課題がやはり存在している。昨年度から新型コロナの扱いが変わったこともあり、質問9の数値が大きく上昇していたが、本年度もさらに上昇をしており、保護者の期待がうかがえる。

(1)分析の概要

- ・前年比で数値が大幅に下降した項目はほぼない
- ・前年比で数値が大幅に上昇した項目

3. 学校の生徒指導の方針に共感できる。(70.7% ← 64.0%)
8. 先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。(76.1% ← 71.5%)
9. この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。(80.5% ← 77.7%)

昨年から引き続き上昇しているのは新型コロナの行動制限による影響が弱まった9である。保護者が学校を訪れる機会は確実に増加しており、また保護者自らも、学校との関りを求めているように感じられる。また、質問8の数字が上昇していることは、学校の対応について一定の共感をうかがうことができるが、自由記述では厳しい意見が届いている。常に教師の振る舞いや言動には責任が伴うことを改めて確認する必要があるのかも知れない。

3. 生徒アンケートの集計結果

(1)生徒アンケート 分析の概要

- ・前年比で数値が大幅に下降した項目はない
- ・前年比で数値が大幅に上昇した項目

1. 学校に行くのが楽しい。(今年度 85.1% ← 昨年度 75.6%)
2. この学校には他の学校にはない特色がある。(60.8% ← 48.7%)
3. 授業が楽しくわかりやすい。(72.4% ← 53.0%)
7. 理解度に応じて補習や講習が行われている。(92.3% ← 70.7%)
9. 将来を考えると、校則はほぼ適切だと思う。(57.9% ← 43.5%)
10. 先生は、いじめなど生徒が困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(90.1% ← 77.6%)
14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。(90.9% ← 90.3%)
19. 学校全体として、部活動は活発だと思う。(90.3% ← 85.1%)
20. 体育祭・文化祭など学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。(87.5% ← 76.3%)
21. 自習室、図書室等の開室がされていて、学習する環境が整っている。(95.6% ← 92.1%)

22. 学校は、清掃活動が行き届いていて清潔である。(62.9% ← 46.5%)

23. 学校は、一人一台端末を効果的に活用している。(92.5% ← 88.7%)

全体的に大きく数値が上昇している。これは、必ずしも1つずつの項目ごとに評価が上がったということだけでなく、それに加えて、学校全体として生徒の持っている不満を解消するような働きかけが、生徒が学校全体に対する好感度を上げているのではないかと考えられる。質問21の図書室、自習室の環境については、すでに高い評価を得ているので、大幅な上昇とは言えないが、肯定的回答が 95.6%に達しており、ほぼ全員が評価していると考えられる。

自由記述では生活指導のルール改正に関しての記述が多かった。しかしながら、生徒、保護者ともに教科指導や教師の対応についても中には厳しい意見がでてきており、学習意欲への高さがうかがえるとともに、要望は見過ごすことなく、振り返りと反省のうえ、次年度に進むことが求められよう。。

4. 自由記述部分について

上記以外にも保護者、生徒、教員からは自由記述による意見も多数寄せられた。。職員会議ですべての記述意見を共有した。